



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月20日

上場会社名 株式会社 スーパーツール

上場取引所 東

コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部兼総務部部长 (氏名) 小中 渉

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 2022年1月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年3月16日～2021年12月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	6,238	20.1	539	42.2	475	47.9	321	52.5
2021年3月期第3四半期	5,192	25.3	379	47.9	321	51.0	210	51.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 325百万円 (5.9%) 2021年3月期第3四半期 307百万円 (27.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	158.12	
2021年3月期第3四半期	103.35	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,150	9,414	66.5
2021年3月期	14,852	9,238	62.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 9,414百万円 2021年3月期 9,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		30.00	60.00
2022年3月期		30.00			
2022年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月16日～2022年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,350	0.6	650	16.1	560	15.2	370	14.8	181.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	2,084,304 株	2021年3月期	2,084,304 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	62,421 株	2021年3月期	50,651 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	2,033,551 株	2021年3月期3Q	2,040,293 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及や緊急事態宣言の解除等により、厳しい状況が徐々に緩和され、景気に持ち直しの動きがみられるなか、新たな変異株の発生など感染再拡大のリスクは解消されず、設備投資の持ち直しに足踏みがみられるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。また、世界経済につきましても、同様に変異株等による一部の地域での感染再拡大により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、より効率よく的確な顧客ニーズの把握を目指したマーケティングオートメーション活用の取り組みや、ホームページの製品紹介のブラッシュアップによる顧客訴求力向上、最新物流機器等が出展される物流に特化した展示会への新規出展など、販売拡大の為の施策に取り組んでまいりました。また、法改正に対応した新製品の発売など、製販一体となり、新製品開発に注力してまいりました。さらには生産効率向上を目指した設備更新の取り組みなど収益の安定化にも取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、制度改正等による厳しい事業環境のなか、事業環境の変化を見据えた商材の充実などにも注力し、収益確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,238百万円（前年同四半期比1,045百万円増、20.1%増）、営業利益は539百万円（前年同四半期比160百万円増、42.2%増）、経常利益は475百万円（前年同四半期比154百万円増、47.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は321百万円（前年同四半期比110百万円増、52.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (金属製品事業)

多彩な製品群により、幅広い産業で使用される当社製品において、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資の持ち直しに足踏みがみられるなど先行き不透明な状況が続くなか、国内販売において、作業工具につきましては、豊富なラインナップでさまざまな分野で使用される機械のメンテナンスに有用なブローラー類が順調に推移いたしました。産業機器につきましては、荷役作業において機動性に優れたマルチクレーンなどのクレーン類の売上が順調に推移し、早送り機能を追加したスクリューサポートなど、機械加工において作業効率に優れた治工具類の売上が好調に推移いたしました。

海外市場では、当社の主要市場である韓国やワクチン接種が進んだ地域などにおいて景気に持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株の発生等により先行き不透明な状況が続くなかで、韓国では現地法人の強みを活かした営業活動に取り組み、その他の地域においても安全性と日本企業の製品であることをアピールポイントとしながら、WEB会議システム等を活用し、顧客との緊密なコミュニケーションにより信頼関係を構築しながら粘り強く積極的な営業活動に取り組んだ結果、海外において売上は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,863百万円（前年同四半期比478百万円増、14.1%増）、セグメント利益は732百万円（前年同四半期比123百万円増、20.4%増）となりました。

#### (環境関連事業)

固定価格買取制度(FIT)から新たな制度であるフィードインプレミアム(FIP)への改正等による事業環境の変化はあるものの、近時の再生可能エネルギーへのニーズの高まりから、太陽光発電所の施工や関連機器の販売が比較的好調に推移いたしました。また、発電所事業においては、抱えていた案件の売却が進み出し、あわせて売上高、利益ともに前年を大きく上回りました。引き続き、太陽光発電事業のノウハウを活かしたフィービジネスへの推進を図り、より筋肉質な事業体制を構築してまいります。

なお、売電部門では、3ヵ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,374百万円（前年同四半期比567百万円増、31.4%増）、セグメント利益は91百万円（前年同四半期比14百万円増、19.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4.7%減の14,150百万円(前連結会計年度は、14,852百万円)となり前連結会計年度末に比べ702百万円減少しました。

この主な要因は、流動資産では、前渡金の減少490百万円、商品及び製品の減少457百万円、現金及び預金の増加51百万円、仕掛品の増加163百万円等であり、固定資産では、建物及び構築物の減少23百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比15.6%減の4,736百万円(前連結会計年度は、5,613百万円)となり前連結会計年度末に比べ877百万円減少しました。

この主な要因は、流動負債では、支払手形及び買掛金の減少440百万円、短期借入金の減少250百万円、賞与引当金の減少36百万円等であり、固定負債では、長期借入金の減少74百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1.9%増の9,414百万円(前連結会計年度は、9,238百万円)となり前連結会計年度末に比べ175百万円増加しました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加321百万円、配当金の支払いによる減少122百万円、自己株式の増加26百万円、その他有価証券評価差額金の増加5百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年7月15日付「2022年3月期第1四半期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,126,199	2,177,619
受取手形及び売掛金	1,451,030	1,418,044
商品及び製品	1,887,253	1,429,493
仕掛品	801,855	965,297
原材料及び貯蔵品	278,125	340,976
前渡金	1,440,555	950,476
未収入金	525,101	525,696
その他	55,088	27,199
流動資産合計	8,565,209	7,834,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	426,233	402,627
機械装置及び運搬具(純額)	827,034	835,128
土地	4,499,357	4,499,357
その他(純額)	47,907	47,916
有形固定資産合計	5,800,533	5,785,029
無形固定資産	59,441	70,633
投資その他の資産		
投資有価証券	338,453	349,709
繰延税金資産	56,135	67,643
その他	32,370	42,251
投資その他の資産合計	426,959	459,604
固定資産合計	6,286,935	6,315,267
資産合計	14,852,144	14,150,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,074,087	633,372
短期借入金	1,520,000	1,270,000
1年内返済予定の長期借入金	114,960	99,960
未払金	840,228	803,254
未払法人税等	94,203	77,836
前受金	84,695	153,407
賞与引当金	48,736	12,098
その他	86,093	25,288
流動負債合計	3,863,005	3,075,217
固定負債		
長期借入金	537,580	462,610
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
繰延税金負債	2,125	—
退職給付に係る負債	187,246	174,572
その他	983	1,002
固定負債合計	1,750,568	1,660,817
負債合計	5,613,573	4,736,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,902,597	1,902,597
資本剰余金	837,206	835,706
利益剰余金	4,154,993	4,354,457
自己株式	△114,222	△140,983
株主資本合計	6,780,574	6,951,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,839	145,738
繰延ヘッジ損益	1,242	△61
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	△185	△516
その他の包括利益累計額合計	2,457,996	2,462,260
純資産合計	9,238,570	9,414,038
負債純資産合計	14,852,144	14,150,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月16日 至 2021年12月15日)
売上高	5,192,249	6,238,149
売上原価	3,813,982	4,761,997
売上総利益	1,378,267	1,476,151
販売費及び一般管理費	999,151	936,877
営業利益	379,116	539,274
営業外収益		
受取利息	28	14
受取配当金	5,003	4,253
受取補償金	909	—
助成金収入	6,489	250
為替差益	—	4,845
その他	2,775	3,482
営業外収益合計	15,205	12,845
営業外費用		
支払利息	5,773	6,820
売上割引	65,018	69,311
その他	1,937	355
営業外費用合計	72,729	76,487
経常利益	321,592	475,632
特別利益		
固定資産売却益	—	192
特別利益合計	—	192
特別損失		
固定資産除売却損	5,144	1,074
特別損失合計	5,144	1,074
税金等調整前四半期純利益	316,447	474,750
法人税、住民税及び事業税	125,049	168,862
法人税等調整額	△19,458	△15,661
法人税等合計	105,590	153,200
四半期純利益	210,856	321,549
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,856	321,549



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月16日 至 2021年12月15日)
四半期純利益	210,856	321,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,872	5,898
繰延ヘッジ損益	23,220	△1,303
為替換算調整勘定	698	△330
その他の包括利益合計	96,791	4,264
四半期包括利益	307,647	325,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,647	325,814
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月25日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は26,001千円（11,530株）減少いたしました。また、2021年7月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は52,761千円（23,300株）増加いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は140,983千円となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月16日至2020年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,385,161	1,807,088	5,192,249	—	5,192,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,385,161	1,807,088	5,192,249	—	5,192,249
セグメント利益	608,777	76,625	685,403	△306,287	379,116

(注) 1 セグメント利益の調整額△306,287千円には、セグメント間取引消去2,716千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△309,003千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月16日至2021年12月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,863,544	2,374,604	6,238,149	—	6,238,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,863,544	2,374,604	6,238,149	—	6,238,149
セグメント利益	732,689	91,359	824,049	△284,775	539,274

(注) 1 セグメント利益の調整額△284,775千円には、セグメント間取引消去2,690千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△287,465千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。